

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-イ	臨空・臨港型産業の集積促進	施 策	③離島空港における航空・宇宙関連産業の展開
			施策の小項目名	○離島空港の利活用の推進
主な取組	離島空港を活用した航空・宇宙関連産業の展開		対応する成果指標	離島空港の区域内における企業使用面積（累計）
施策の方向	・那覇空港・那覇港の国際物流機能を活用した産業集積が進む中、新たな展開として下地島空港等の離島空港を活用した航空・宇宙関連産業の展開を推進し、新たな産業の創出と集積に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
離島空港を活用した航空・宇宙関連産業の展開として、下地島空港第4期利活用事業者の募集を実施する。	県	下地島空港第4期利活用事業の公募	下地島空港第4期利活用事業の条件協議	下地島空港第4期利活用事業の条件協議、基本合意書締結
		事業者数		
		4期応募 7社	条件協議 5社	基本合意 1社
担当部課【連絡先】	土木建築部空港課		【 098-866-2400 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

県単離島空港整備事業費

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

—

0

20,000

令和7年度活動内容

下地島空港および周辺用地の利活用事業について、事業実施環境の整備等に係る支援等を行う。

予算事業名

県単離島空港整備事業費

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

24,000

令和8年度活動計画

下地島空港第4期利活用事業の公募に向けて取り組む。

活動指標名

事業者数

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

4期公募準備

4期応募 7社

100.0%

やや遅れ

令和3年度末に第3期利活用候補事業者を7社選定し、令和6年度7月まで基本合意に向けて条件協議を実施してきた。その後、これまでの事業の検証を実施してきている。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

第4期公募に向けた取組みとして、今後の事業の円滑な推進を目的に、これまでの事業の検証を実施しているため、進捗状況はやや遅れとしている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

〇財地方自治体公民連携研究財団との共同研究を令和7年度まで取り組むので、その結果を踏まえ、利活用事業を推進していく。

第4期の利活用事業の公募の在り方等について検討するために、専門的な知見を有する財地方自治体公民連携研究財団と協定を結び、共同研究を行ってきている。

- 2 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	これまでの事業内容の検証するため、課題等を整理して、しっかりと利活用事業としての早期成果を得るために、次の展開を見据えて取り組む必要がある。	⑧ その他	下地島空港の高度な空港機能と、広大な周辺公有地の有効活用を図るため、民間事業者のノウハウ等に基づく利活用の促進に取り組む。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-イ	臨空・臨港型産業の集積促進	施 策	③離島空港における航空・宇宙関連産業の展開
			施策の小項目名	○航空・宇宙関連産業に係る空港施設の機能向上
主な取組	高付加価値の航空・宇宙関連産業に関連する離島空港の施設機能向上整備		対応する成果指標	離島空港の区域内における企業使用面積（累計）
施策の方向	・ 高付加価値の航空・宇宙関連産業に関連する離島空港の施設機能向上を図り、離島空港へのネットワークの展開・拡充に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
高付加価値の航空・宇宙関連産業に関連する離島空港の施設機能向上整備として、空港施設等の整備を実施する。	県	空港施設機能向上整備に係る、調査、設計、工事		
		航空宇宙関連施設整備		
		調査業務1件	設計業務1件	設計業務1件
担当部課【連絡先】	土木建築部空港課	【 098-866-2400 】	関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

（単位：千円）

予算事業名	県単離島空港整備事業費		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額
県単等	直接実施	7,232	1,000
令和7年度活動内容			
下地島空港でエプロン標識の変更整備を実施。			

予算事業名	県単離島空港整備事業費	
R8年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	8,000
令和8年度活動計画		
下地島空港でビジネスジェットターミナルのマーキング補修を実施予定。		

活動指標名	航空宇宙関連施設整備		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	1件	調査業務1件	100.0%	順調	下地島空港では、プライベートジェット用のスポット対応として、エプロン標識の変更整備を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標通りに設計業務、工事を各々1件取り組んでおり、進捗状況は順調である。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案	反映状況
○ 各空港と連携して、計画的に整備するために施設機能向上整備の項目を整理する必要がある。	関係機関との調整により施設機能向上整備項目として、プライベートジェットの利用が多くなったため、下地島空港のエプロン標識の変更が必要となったため、整備することとしている。

- 5 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	施設機能向上整備においては、限りある予算で需要に対応する計画が必要となってくる。	⑧ その他	各空港と連携して、計画的に整備するために施設機能向上整備の項目を整理する。